

多数の小規模自治体を中心とした地域DX推進体制の構築・拡充

実施体制 (下線：代表機関)

東日本電信電話（株）、（株）エヌ・ティ・ティエムイー

支援地域

山形県
金山町・真室川町・戸沢村・川西町・遊佐町

伴走事業の概要

山形県は、自治体のDXを巡る情勢が急速に変化している中、県内市町村のDXの推進状況の把握、柔軟な支援を実施することができていない。本事業において、山形県自治体DX推進協議会等を活用し、地域DX推進体制を拡充するとともに、地域DXの支援方法・進捗管理方法をノウハウ化し、県庁に**DX推進支援者を育成**する。さらに、5町村（金山町・真室川町・戸沢村・川西町・遊佐町）においては、DXによる地域課題の解決をけん引する**DX推進リーダーを育成**する。

山形県はDX推進支援者を中心とした市町村へのDX推進支援を、5町村はDX推進リーダーを中心とした各地域における継続的なDX推進を連携しながら行い、県内のステークホルダーを巻き込みながら、**県全体にくまなく地域DXの取組みを波及**させる。

現状・課題

- 山形県は市町村のDXの進捗状況の把握やフォローアップが十分にできておらず、市町村間に取組みの差が生じている。
- 各市町村はデジタルを用いた地域課題の解決を実施したいものの、体制の構築や作業の優先付けができておらず、支援を必要としている。

山形県

市町村のDX推進体制の構築支援が課題

自律的にDXが進行

DXへの取組みの支援が必要

5町村

- (金山町・真室川町・戸沢村・川西町・遊佐町)
- 窓口業務改革の計画策定が困難
- 有害鳥獣による被害
- 災害時における住民周知の迅速化などの課題を抱える

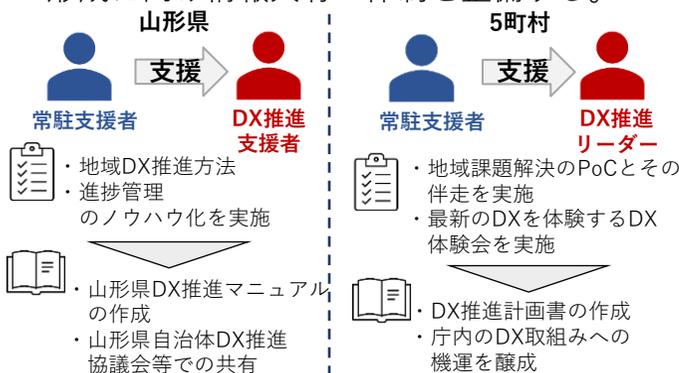
他の市町村

他の市町村

⇒市町村間に取組みの差が発生

対応

- 山形県においては、市町村のDXを支援するDX推進支援者を育成し、山形県DX推進マニュアルの作成をはじめとした市町村支援のためのプロセスと体制を構築する。
- 5町村においては、DXによる地域課題の解決をけん引するDX推進リーダーを育成し、実装（例：有害鳥獣、災害への対策）を目指したDX推進計画書を作成する。
- 県および市町村が知見やノウハウを持ち寄り、連携してDXを推進するコミュニティの形成に向け情報共有の体制を整備する。



実現する社会像

- 山形県は5町村を先導モデルとして、同様の取組みを他の市町村に展開すると同時に、異なるニーズに応じて助言するなどの支援を実施することにより、県全体にくまなく地域DXの取組みを波及させる。
- 県内のDXに関するコミュニティを通じて、県内外に山形県のDXに関する取組みを発信することで、県内の他市町村のDXへの動機付けや県外からのDX視察、企業誘致の流れを作る。

県外への情報発信

県外からの視察受入

山形県

DX推進支援者を中心に
各市町村のDXを支援

推進支援

5町村

DX推進リーダーを中心にDXを自走

他の市町村

山形県からの支援や5町村の成功事例を基にDXを推進

⇒県全体でくまなく地域DXを推進